

ごあいさつ



取締役会長

高崎秀夫

取締役頭取

土井伸宏

皆さまには、平素より京都銀行をお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

当行に対するご理解を一層深めていただくため、『京都銀行ディスクロージャー誌2016』を作成いたしました。経営方針、最近の業績、および営業活動の現況等について、順次ご説明申し上げます。

当行は、昭和16年10月の創立以来、地域の中核的金融機関として地域の皆さまとともに歩み、幅広い金融機能を備えた地元リテールバンクとして力強い発展を遂げてまいりました。これもひとえに皆さま方の暖かいご支援、ご愛顧の賜ものと深く感謝申し上げる次第でございます。

さて、わが国では人口減少などによる経済規模の縮小が懸念される中、地域金融機関には、産業の育成や企業の生産性向上などによって、地域経済が持てるポテンシャルを引き出し、地方創生につなげる役割が求められています。

こうした中、当行は、第5次中期経営計画「ビジョン75 いい銀行づくり」の最終年度を迎え、お客さまのニーズや課題の一つひとつに的確にお応えすることで、相互の信頼関係の強化を図るとともに、なお一段の取引深耕・拡大につなげ、広域型地方銀行としての更なる成長を実現してまいります。

また、「地域社会の繁栄に奉仕する」という当行の経営理念のもと、グループ会社と緊密に連携しながら、質の高い金融仲介機能を発揮するうえでの事業性評価の実践や専門家の育成はもとより、資産運用や資金決済での利便性の高い金融サービスの提供など、あらゆる局面でお客さまを基点にした取り組みを展開し、お客さまとともに歩み、地域とともに成長する金融機関として、更なる飛躍をめざす所存でございます。

なにとぞ、今後とも格別のご支援、ご高導を賜りますよう心からお願い申し上げます。

平成28年7月